

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【公表番号】特表2004-506661(P2004-506661A)

【公表日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-520619(P2002-520619)

【国際特許分類第7版】

A 01N 37/18

A 01K 13/00

C 07C 233/58

【F I】

A 01N 37/18 Z

A 01K 13/00 Z

C 07C 233/58

【手続補正書】

【提出日】平成15年2月24日(2003.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

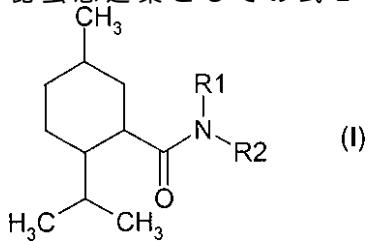
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

昆虫忌避薬としての式Iで表わされる化合物の使用：



式中、

R¹及びR²は独立して、H、炭素原子1～20個を有する直鎖状若しくは分枝鎖状の飽和若しくは不飽和脂肪族若しくはヘテロ脂肪族残基、又は環系に対する若しくは環系上の任意の置換基の炭素原子を計算に入れずに、炭素原子4～8個を有する環状残基を表わし、

そしてR¹がHである場合、R²はまた、10個までの炭素原子を有する置換若しくは非置換のアリール若しくはヘテロアリール残基であることができ、あるいは

R¹及びR²は、これらが結合している窒素原子と一緒にになって、環系に対する若しくは環系上の任意の置換基を計算に入れずに、炭素原子4～8個を有する環状若しくはヘテロ環状の飽和若しくは不飽和環系を形成してもよい。

【請求項2】

該化合物において、

R¹はH、メチル、エチル、プロピル又はフェニル残基を表わし、及び

R²はH、メチル、エチル、プロピル又はフェニル残基を表わす、請求項1に記載の化合物の使用。

【請求項3】

溶剤、芳香成分、殺虫剤及び昆虫忌避薬から選択される化合物を含有する組成物中の昆虫忌避薬又はクモガタ綱動物忌避薬としての式Iで表わされる化合物の使用。

【請求項4】

家庭用品、工業的クレンジング製品、ペット及び家畜動物保護用製品、布地、プラスティック材料、及び被覆材料から選択される製品における請求項3に記載の組成物の使用。

【請求項5】

昆虫忌避薬及び／又はクモガタ綱動物忌避薬としての上記製品を使用するための指示書とともに、昆虫忌避薬又はクモガタ綱動物忌避薬として式Iで表わされる化合物を含有する製品を含むパッケージ。